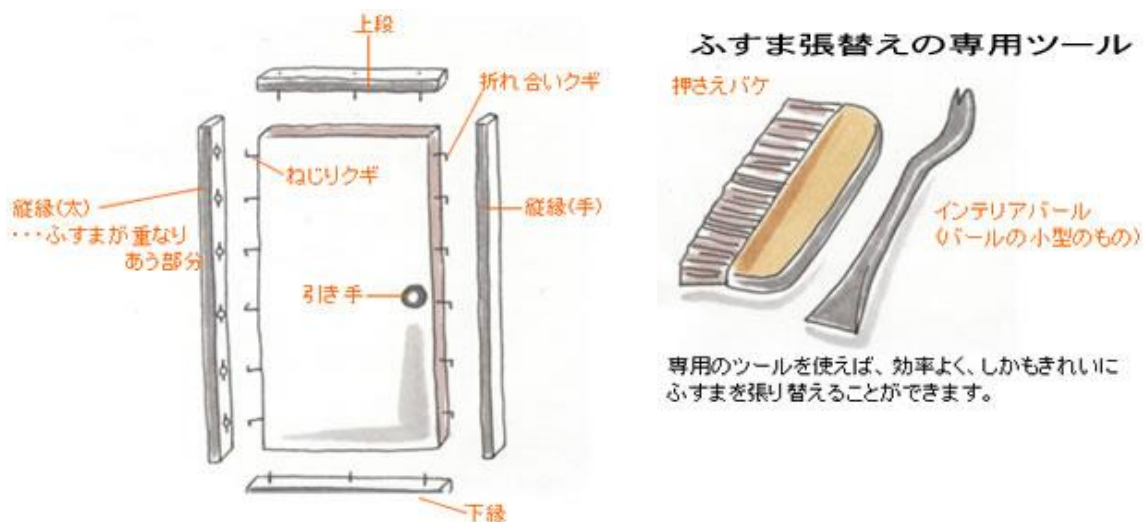


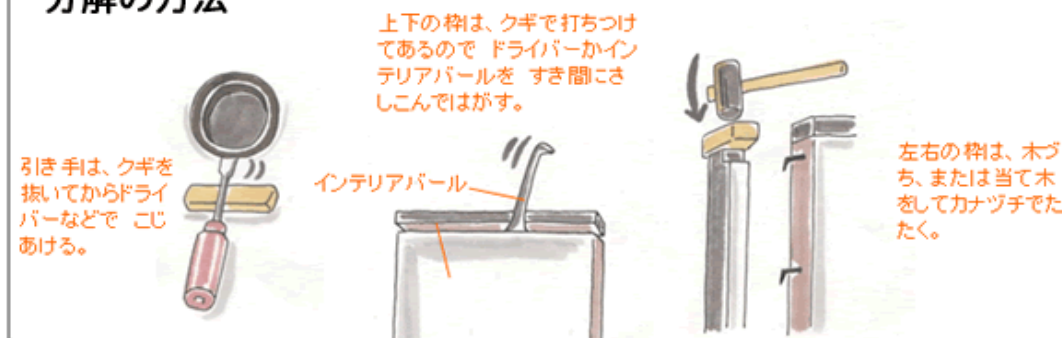
## ふすまの張り替え(2)

種類も豊富で本格派の水を含ませ、ノリを戻して張る「再湿タイプ」に挑戦しましょう。

- ❖ 乾いたときに、ピンと張る、仕上がりの美しさが特徴です。
- ❖ 再湿タイプは「本ふすま」を張るのに適しています。「本ふすま」を張る時は、普通、枠を分解します。枠をはずさずに、張り替えることもできますが、枠をはずす方が 数段きれいな仕上がりになります。
- ❖ 「ふすまを分解する」というと とても大変そうですが、ふすまの構造さえ理解すれば、誰でも簡単に枠をはずすことができます。



### 分解の方法



- ❖ 枠をはずす順番は、左右→上下の順です。引き手は、クギを抜き、ドライバーかインテリアパールでこじ上げればはずれます。
- ❖ ふすま紙は、組子に数枚の下張りをして、その上に張ってあります。専門家に張替えを頼むと、下張りを残して ふすま紙だけをはがし、新しい紙を張ってくれますが、家庭で張り替える場合は、すでに張ってある ふすま紙の上に直接張ってかまいません。

## 再湿タイプのふすまの張り方

### ■ 用意するもの

(1)木づち または カナヅチ(2)インテリアパール(3)当て木(4)ふすま紙(5)ハケ(6)押さえバケ(7)タオル(8)カッティングメジャー(9)カッターナイフ(10)引き手用クギ打ち

1



引き手の縁に、インテリアパールを差し込み、木づちの柄を支点に、てこの要領で引き手を浮かせます。インテリアパールをはずして 引き手を押し戻すと クギが浮きます。

2



浮き出たクギを、インテリアパールではさんで抜きます。抜いた側に 引き手を引っ張ると、もう1本のクギと一緒に、引き手がはずれます。この時、クギを曲げないように注意しましょう。

3



左右の枠をはずします。左右の枠は(普通下向きの)折れ合いクギでとめてあるので、枠の上部を 木づちでたたくと簡単にはずれます。木づちがなければ、当て木をして カナヅチでたたきます。

4



上下の枠をはずします。上下の枠は、打ちクギが使われているので、すき間にインテリアパールを差し込み、全体を平均して少しずつはずします。枠をはずしたら、どの場所の枠か 印をつけておきます。

5



ふすま紙のノリの面を上を広げ、表の柄を確認しながら、位置を決め、ふすまの大きさより1~2cm大きめにカットします。巻きぐせが ついているので、重しをすると作業が スムーズに進みます。

6



ハケを使って、水を均等にたっぷり塗ります。  
四隅から先に塗ると、ふすま紙が伸びて丸まりません。  
水の塗り残しは、シワの原因になるので注意しましょう。  
3~5分おくとノリの粘着力が増します。

7



ふすま紙を位置に合わせて広げ、押さえバケかタオルで中央から「小」の字を書く要領で、紙とふすまの間の空気を押し出すようにして張ります。  
多少の紙のシワやたるみは、乾くと自然ととれます。

8



表が張れたら、押さえバケかタオルを使って、ふすま紙をふすまのへりの上から下に引っ張るようにして折り込みます。  
四方が折れたら、角の余った部分はハサミで切り落とします。

9



クギの少し下、もしくはふすまの厚みの半分を目安に、カッティングメジャーを当てて、余分なふすま紙をカットして、枠を取り付けます。  
枠は、はずした時と逆の順番・・・上下→左右の順で。

10



引き手の穴は、手でなぞって位置を確かめ、カッターナイフで十字に切り込みを入れておきます。  
穴は、ふすま紙が乾くと、位置がわかりにくくなるので、ノリが乾く前に切り込むこと。

11



切り込みに引き手をはめ込み、クギを上下に押し込んで固定します。  
押し込んだクギは、引き手用クギ打ち または、引き手のクギよりも大きなクギを使って はずしたクギを打ち込みます。